

2020年5月31日
ペンテコステ

家庭礼拝のための
聖書・牧会祈禱・メッセージ



【 聖 書 】

使徒言行録2章1節～13節（新約聖書214頁）

【牧会祈禱】

命の源である神様

今日は聖霊が弟子たちに降ったことを記念する日です。神様が福音を語る力を弟子たちにくださり、その働きの中で私たちも信仰をいただきました。感謝いたします。私たちの信仰は弱いものです。社会が揺れるとき、自分が揺れるとき、その弱さを痛感します。けれども、あなたはどんなに小さな信仰をも豊かに用いてくださる方です。あなたを信頼して自分を委ねることができますように。

家庭で礼拝を守っている友をお支えください。様々な不安や心の痛み、もどかしさがあると思います。神様は全てをご存じです。どうか、友の家庭をあなたの住まいとし、祝福してください。また、教会で礼拝を守る友の中にも、同じような思いを抱えている人がいるはずですよ。不安よりも大きな希望があること、癒やし主であるあなたがおられることを確信させてください。

私たちはあなたを悲しませること、落胆させてしまうことを成してきました。どうか、真心からの悔い改めをさせてください。人や自分を裁くことから自由にしてください。神様の愛や赦しに及ぶものではありません。大切なことを見失わずに歩めますように。

軽井沢幼稚園、あなたの名によって立てられた全ての幼稚園、学校、施設を導いてください。そこで働く教師、スタッフたちはこの状況の中でも、勤めを果たそうとしています。どうか支え、励ましていてください。病気で入院中の友や療養中の友、礼拝から遠ざかっている友たちをお守りください。

このお祈りを主イエス・キリストのお名前によって御前におささげいたします。アーメン。

【メッセージ】

イエス様は復活の後、40日間弟子たちに現れ寝食を共にされました。弟子たちはこのままイエス様と一緒に生きることができるのだと思っていたでしょう。十字架の直前、イエス様を裏切ってしまった弟子たちですから、「今度こそは」という覚悟があったはずですよ。

しかしイエス様は、聖霊を送る約束をして天へ去ってしまうのです。弟子たちはイエス様との別れを二度も経験することになりますが、今度はイエス様の約束が心にしっかりと残っていたでしょう。弟子たちはイエス様が必ず約束を果たしてくださる方だと知っていま

す。だから、エルサレムの家で祈りながら待っていました。そして神の 때가 満ちたのです。突然天から風の音がして、炎のような舌が全ての弟子の上に現れたのです。そして彼らは様々な国の言葉で語り始めます。

物音を聞いて集まったエルサレムの人々おは驚きました。弟子たちが故郷の言葉を話していたからです。エルサレムの人々となっていますが、ここにいるのは巡礼者たちです。過越祭前にエルサレム入りをして、五旬祭の礼拝に参加してから帰るとというのが巡礼のモデルコースでしたので、まだ街に残っていたのです。つまり、この中にはイエス様に向かって「十字架につける」と叫んだ人たちがいたのです。ペトロはこの後、人々に向かって「あなたがたは律法を知らない者たちの手を借りて、十字架につけて殺してしまったのです」と言いますが、それはまだ生々しい言葉であつたはずで、しかし、イエス様を殺した人々にこそ福音が伝えられなければならない、というのが神様のご計画だったので。

そのために神様は弟子たちを霊で満たしました。満たすということは、他のものが入る隙間がないということです。自分の力や、計画、積み上げてきたと思つてきたもの。それらが入らず、どこをとつても神様の力一色になるのです。弟子たちにはイエス様との一度目の別れで、自分の弱さを知りました。自分は頼れるほどのものではないと分かっています。そしてこの時、弟子たちはお金も、人脈も、知恵もありませんでした。つまり福音が語り始められたのは、私たちの何もないところだったので。

家庭や職場で行き詰まる、身体や心の健康が崩れる、自分への信頼を失う。どれか一つ欠けるだけでも、私たちは生きる力を失います。しかし、神様の力が発揮

されるのは、私たちが「何もない」と思う時です。あなたを絶望させない、あなたを潰れさせない神様の力がその時こそ輝き出すのです。

ペンテコステに起きたのは、弟子たちに聖霊が降つたということです。しかしこれは、一人ひとりの平凡に生きる信仰者に霊の力がそそがれたということでもあります。私たちにとって、イエス様の言葉を伝えること、イエス様の言葉に従って生きることは、外国語や外国文化のように自分の「外」のものかもしれませんが、しかし、その外のものが、私の内に来てくださったのです。神様がご自身が私の生命を通してキリストが証をしようとしてくださるのです。

主はどのような方なのか、ペトロはこの後の説教で語っています。「神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。イエスが死に支配されたままでおられるなどということは、ありえなかったからです」。私たちがこの人生で証するのは、十字架につけて殺した張本人さえ愛してくださる方、死にさえ勝利される方です。神様はそのままでは死ぬしかなかった罪深い者を尊いつとめに就かせてくださったのです。

今、満たされない思いを抱えているかもしれません。必死になって足りないものを埋めようとしているかもしれません。しかし、あなたを満たし、用いるのはあなた自信ではありません。神様なのです。自分のこだわり、自分への捕らわれから自由になりましょう。神様はあなたをあなたのままで既に用いておられるのです。霊を満たし、キリストを証するものとして。